



第4章

ダビデと他の詩篇記者たちの祈り④

神を認識する 讃美と礼拝



Check!

- 『聖書の祈りが私の祈りになる』（旧約編）p 185－191
- 主な引用箇所 サムエル記第二21章1～6節、サムエル記第二22章、歴代誌第一29章10～19節

? 質問

- 1 詩篇は祈りの宝庫です。詩篇の中に「ディボーションのための言葉のまさに類義語辞典」があると言えるのはなぜですか？（185ページ参照）
- 2 詩篇の中で、神はどのような方として表現されていますか？（185ページ参照）
186～188ページに引用されている詩篇のことばを読んで、神がどのような方だと知ることができますか？
- 3 ダビデは、神を真にあがめるべき方として、また、人生のあらゆる局面に直接に関係のある方として認めていました。（188ページ）あなたも、神が自分の人生と直接に関係のあるお方だと認めていますか？
そのように認めるにはどうしたらよいと思いますか？
- 4 詩篇にある神への讃美と礼拝のことばは、私たちにどのような励ましを与えてくれますか？（191ページ）
今、あなたにとって、詩篇のどのことばが励ましを与えてくれますか？
- 5 自分の祈りについて、決まり文句が多くなっていたりマンネリ化していたり思うことがありますか？
どうしたら、もっと豊かな祈りができるようになると思いますか？
- 6 今日読んだ箇所から、あなたは祈りについてどんなことを教えられましたか？
どんなことを実践したいと思いますか？



偉大な神さま、貧しい私の言葉を助けて下さい。あなたをあがめる豊かな言葉を与えて下さい。神の言葉の中に身を置く恵みを今日も教えて下さい。あまりにも悟りの鈍い者に、人生の折々でああなたがどういふ方か悟る鋭敏な感覚を与えて下さい。私の知性、感情、意志のすべてを聖霊で満たして下さい。